

教科目名 哲学概説 (Philosophy)

学科名・学年 : 全学科 5 年 (教育プログラム 第 2 学年 ○科目)

単位数など : 選択 2 単位 (前期 1 コマ, 後期 1 コマ, 授業時間 46.5 時間)

担当教員 : 堀 栄造

授業の概要			
西洋現代哲学を概説する。プラグマティズムや新实在論や分析哲学といった英米哲学, 生の哲学や現象学や実存哲学といった独仏哲学について概観する。			
達成目標と評価方法		大分高専目標(A1), JABEE 目標(a)	
(1) 西洋現代哲学を概観することによって, 哲学的思考の仕方を理解する。(定期試験)			
(2) 我々にとって異文化といえる西洋的思考および西洋的文化に接し, 地球的視点から多面的に物事を考える力を身に付ける。(定期試験)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	プラグマティズム (パース)	○パース, ジェイムズ, デューイの哲学について理解できる。 ○ラッセル, マッハ, ヴィットゲンシュタインの哲学について理解できる。 ○フォイエルバッハ, マルクスの哲学について理解できる。 ○ショーペンハウアーの哲学について理解できる。	【理解の度合い】
2	同上 (ジェイムズ)		
3	同上 (デューイ)		
4	新实在論 (ムア・ラッセル)		
5	分析哲学 (マッハ・ヴィットゲンシュタイン)		
6	弁証法的唯物論 (フォイエルバッハ)		
7	弁証法的唯物論 (マルクス)		
8	生の哲学 (ショーペンハウアー)		
9	前期中間試験		【試験の点数】 点
10	前期中間試験の解答と解説	○ニーチェの哲学について理解できる。 ○ベルクソン, デイルタイの哲学について理解できる。 ○ボルツァーノ, ブレンターノの哲学について理解できる。	【理解の度合い】
11	同上 (ニーチェ)		
12	同上 (ベルクソン)		
13	同上 (デイルタイ)		
14	現象学 (ボルツァーノ・ブレンターノ)		
15	前期期末試験		
	前期期末試験の解答と解説		
16	現象学 (フッサール)	○フッサールの哲学について理解できる。 ○シェラー, メルロー・ポンティの哲学について理解できる。 ○キルケゴール, ヤスパースの哲学について理解できる。	【理解の度合い】
17	同上 (フッサール)		
18	同上 (フッサール)		
19	同上 (シェラー)		
20	同上 (メルロー・ポンティ)		
21	実存哲学 (キルケゴール)		
22	同上 (ヤスパース)		
23	後期中間試験		【試験の点数】 点
24	後期中間試験の解答と解説	○ハイデガーの哲学について理解できる。 ○サルトルの哲学について理解できる。 ○フロイトの精神分析学について理解できる。	【理解の度合い】
25	実存哲学 (ハイデガー)		
26	同上 (ハイデガー)		
27	同上 (サルトル)		
28	同上 (サルトル)		
29	精神分析学派 (フロイト)		
30	後期期末試験		
	後期期末試験の解答と解説		
履修上の注意	ノートをしっかり取ること。		【総合達成度】
教科書	プリント配布。		
参考図書			
自学上の注意	授業内容をそのつど復習すること。		
関連科目	哲学特論 I・II (専攻科), 倫理。		
総合評価	4 回の定期試験により評価する。評価が 60 点以上を合格とする。再試験は, 総合評価が 60 点に満たない者に対して実施する。		【総合評価】 点